

分科会

2021年7月4日(日)

2021年の総会シンポジウム2日目は、3つの分科会を設けました。

第1分科会は、例年に引き続き、研究所にかかわる若手研究者から「協同の力で支える食のこれから」というテーマでご報告いただきました。第2分科会では、研究所の基幹研究会である生協労働研究会より「生協職員調査から見えてきたもの」と題して、研究報告をいただきました。第3分科会では、2017年から続く生協とステークホルダーとのかかわりに注目する分科会として、「生協と商品事業—生協との取引が持つ意義」をテーマに、生協の取引先である企業よりご報告いただきました。

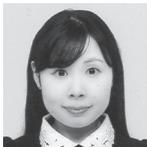
新型コロナ禍の影響で、初日に引き続き、初めてのリモート開催となりましたが、1年余りの経験もあり、たいへん実りのある議論ができたと思います。また、リモートの特性を活かして、全国津々浦々の様々な現場から、多くの方にご参加いただけた点は大きな到達だったかと思えます。

各分科会の報告も、たいへん興味深く、生協あるいは協同組合全体にとって有意義な内容でした。この誌面だけでは、到底すべてをお伝えすることはできませんが、各分科会における報告や議論のエッセンスを受け取っていただき、今後の新しい活動を考えるヒントにいただければ幸いです。

(本誌編集委員長 加賀美太記)

分科会で報告・コメントをいただいた方々

第1分科会



浮網佳苗氏



則藤孝志氏



山野薫氏



片上敏喜氏



小田巻友子氏

第2分科会



内藤三義氏



川口啓子氏

第3分科会



笠原良平氏



川田晃三氏



星野創氏